



PAINTING [塗装]

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

トールギス EW 指定色

	本体などの塗装色 ホワイト(100%) + グレー(少量)
	腹部などの塗装色 ホワイト(90%) + グレー(10%)
	胸部ダクトなどの塗装色 ホワイト(85%) + オレンジイエロー(35%) + イエロー(少量)
	頭部レッド部の塗装色 レッド(95%) + ピンク(5%) + ブルー(少量) + イエロー(少量)
	武器などの塗装色 グレー(90%) + ブラック(10%)
	つま先などの塗装色 ブルー(40%) + ブラック(25%) + レッド(20%) + ホワイト(15%)
	目などの塗装色 クリア(40%) + クリアブルー(60%)

●ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。
※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

ワンポイントステップ ~One point step~

顔を中心にスミ入れしてみよう!

ガンダムマーカースミ入れ用(別売り)などを使用して、キットのスジ彫りを塗装することで、立体感、リアル感が増します。
スミ入れるだけで見違えるような仕上がりになります。



[before]



[after]

ゼクス・マークス

	顔などの塗装色 薄茶色(50%) + ホワイト(50%)
	肩などの塗装色 オレンジイエロー(85%) + イエロー(10%) + ホワイト(5%)
	上着の塗装色 レッド(95%) + ホワイト(5%) + ブルー(少量)
	パンツの塗装色 ホワイト(100%)
	ブーツの塗装色 ミッドナイトブルー(100%)



TALLGEESE OZ-00MS

NEW MOBILE REPORT GUNDAM W ENDLESS WALTZ
OZ-00MS TALLGEESE 1/100 SCALE MASTER GRADE MODEL

© 富田・サンライズ

OZ-00MS TALLGEESE

NEW MOBILE REPORT GUNDAM W ENDLESS WALTZ
OZ-00MS TALLGEESE 1/100 SCALE MASTER GRADE MODEL



GUNDAM-W
Endless Waltz
敗者たちの栄光

GUNDAM.INFO Search
www.gundam.info
バンダイホビーサイト www.bandai-hobby.net/
Fees accrued by your communication and connection to the internet are
under customer's responsibility.
ホームページにアクセスする際の通信費等はお客様の責任となります。



OZ-00MS
「トールギス EW」
1/100スケール
マスターグレードモデル

BANDAI 2013 MADE IN JAPAN ※画像の完成品は、塗装してあります。 0180759



NEW MOBILE REPORT GUNDAM W

MS Design

『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz』の“EW”を冠するトルギス EW。本編ではゼクス愛機として、ウイングガンダムをも圧倒するほどの戦闘能力を誇り、全てのMSの始祖としての存在を示したのだった。

「トルギス」の名を持つMSは3機存在する。すでに完成されていたトルギス以外の2機は予備パーツで建造された機体のため、元を正せば「トルギス」という機体は、すべてが同じ機体と言っても過言ではない。しかし、デザイン上では3機ともに異なるイメージとなっている点も注目を集めた。

特にトルギスは劇中で「プロトタイプ・リーオー」とヒイロが呼んだ通り、リーオーのベースとなった機体である。それは5機のガンダム以外のほぼすべての機体がトルギスの影響下にあるということを示している。こうした設定は機体のデザインにも反映されている。その最たる例がリーオーとの類似点である。トルギスのガンダムの顔を模したフェイスパーツの下はリーオーと同じであり、それ以外にも丸みを帯びた肩関節部や胸部パーツ（エア・インタークの有無といった違いはあるが）、脚部など、機体各部がほぼ同じ形状であり、両者の繋がりを強く意識される意図を引き継いでいる。余談だが、トルギスの「ほぼ全ての戦闘パターンに単機で対応可能な機体」という開発コンセプトは、5機のガンダムにも引き継がれている。



MG トルギス (EW版)

「TV版」トルギスと「エンドレスワルツ版」トルギス



▲カトキハジメ氏が描き下ろし、劇場版『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz』のパンフレットに掲載されたイラスト

つまり、『新機動戦記ガンダムW』に登場するMSは設定・デザインの両方、もしくはどちらか一方にしろ、トルギスの影響下にあると言える。

世界観の中核を成す要素のひとつとも言えるトルギスだが、ストーリーにも大きく関わっている。20年にも亘り搭乗者もなく基地に格納されていたトルギスだが、ゼクス・マークスというパイロットを得て歴史の表舞台に登場した。それはサンキングダムの皇子でありながら、正体を隠しOZの兵士として過ごしていたゼクスの姿とオーバーラップするのである。さらには、ガンダムとの雌雄を決さないままにトルギスを爆破せざるを得なかったが、それが彼の呪縛を解くことに繋がったのだろうか？ トルギスこそ失われたが、予備パーツによってトルギスⅡ、トルギスⅢが建造されている。これらは装備や外見こそ異なるが、基本的にはトルギスと同じ機体である（なお、予備パーツによる同型機の建造は、RX-78 ガンダムやRX-178 ガンダムMk-II、RX-79[G] 陸戦型ガンダムなどにも見られる兵器としてのMSを強調した要素と言えるだろう）。

このようにトルギスは、設定やデザイン上に深くかかわると同時に、これまでのガンダム作品と『新機動戦記ガンダムW』を繋ぐ存在とも言えるのである。

Gundam W Story Playback



史上初の戦闘用MSとして完成したトルギスは、「重装甲と高機動性」という両極端な特性を両立した極めて高性能なMSだった。しかし、この特性は大きな問題——高速移動を行った場合、搭乗者に掛かる最大加速度は15Gとも言われる——を生じさせた。この過剰な性能のため、トルギスは制式採用されず、20年もの間、歴史の闇の中に置かれることとなった。

存在が忘れられて久かったトルギスだが、ゼクスによって遂に戦場にその姿を現す。そして、その相手とは「オペレーション・メテオ」で地球に降下し、OZの施設への襲撃を繰り返す5機のガンダムであった。

MSの輸送を偽装した陽動作戦ではウイングガンダムと、さらに南極大陸ではガンダムヘビーアームズと対峙するが、目まぐるしく移り変わる情勢と策謀はゼクスとトルギスにガンダムとの雌雄を決することを許さなかった。トレースと袂を分かったゼクスはOZを離脱するが、その際の戦闘では70機ものMSを撃破、圧倒的な戦闘能力を示した。その後、宇宙へと

向かうが、無重力下仕様に換装されていなかったため、ゼクスは機体を図として利用。こうしてゼクス自身の手で爆破され、トルギスはその役割を終えたのだった。

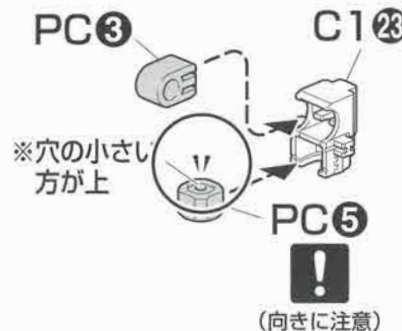


ゼクス・マークス
OZの上級特務で、「ライトニング・バロン」の異名を持つエースパイロット。ヒイロと幾度となく交戦し、互いに「ゼロシステム」を使いこなすようになる。

組み立て前の基本説明

部品の向きに注意してください

※組み立て図中にVのついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



(向きに注意)

ガンダムデカールの貼りかた

①ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。



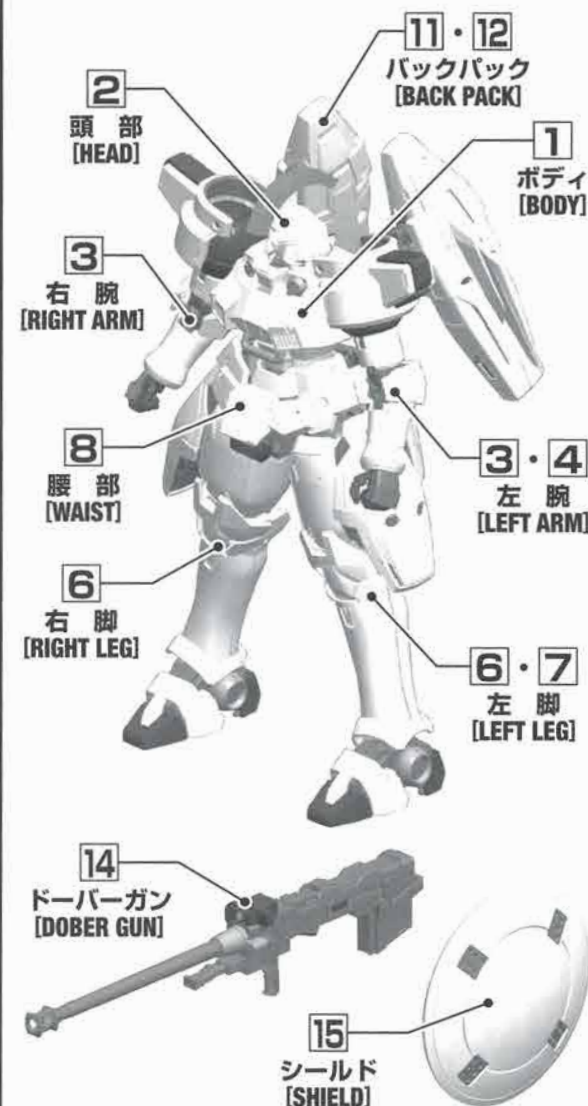
②保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。

③シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。

※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

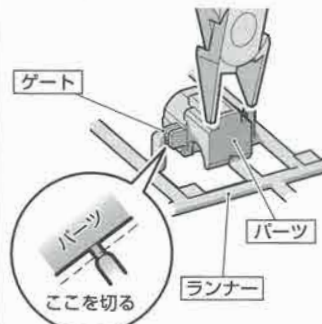


説明書をよく読んで完成させましょう

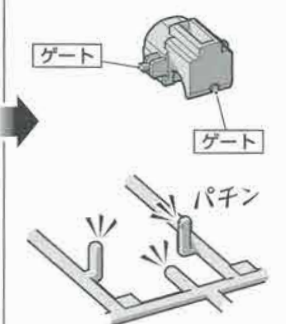


パーツの切り取りかた

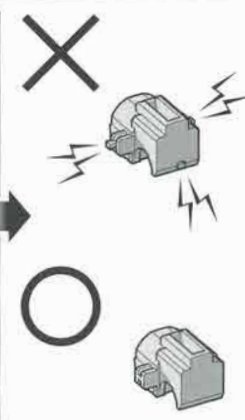
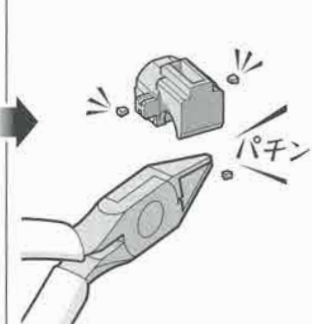
①まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。



②パーツを切り離して持ちやすくなったところでゲート跡の処理に入ります。



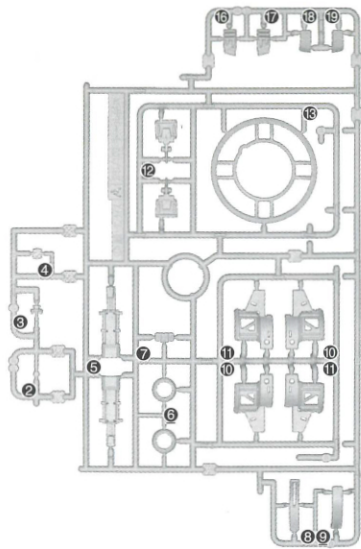
③ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



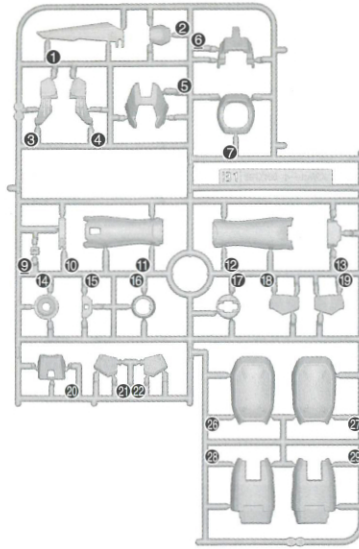
パーツリスト

(×印は使用しないパーツです。)

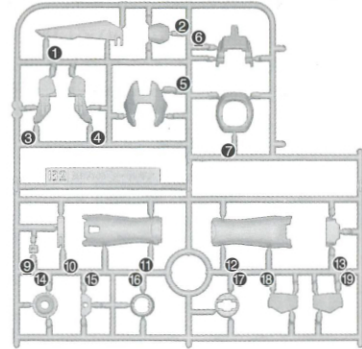
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



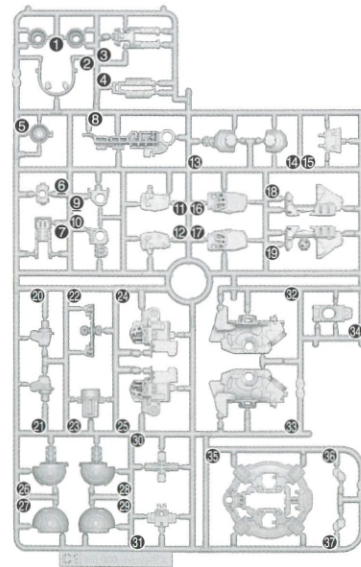
B1パーツ (スチロール樹脂: PS)



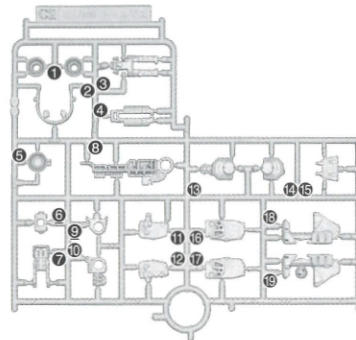
B2パーツ (スチロール樹脂: PS)



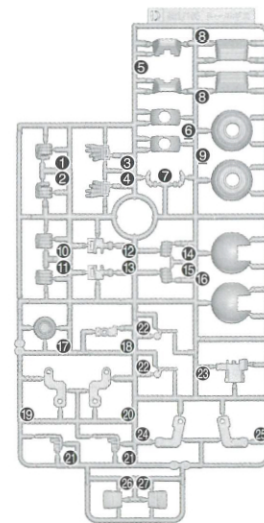
C1パーツ (スチロール樹脂: PS)



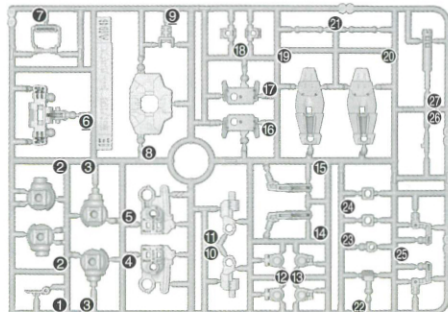
C2パーツ (スチロール樹脂: PS)



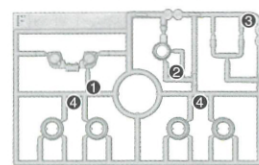
Dパーツ (スチロール樹脂: PS)



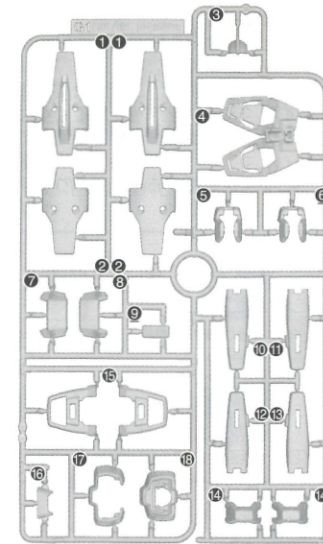
Eパーツ (ABS樹脂: ABS)



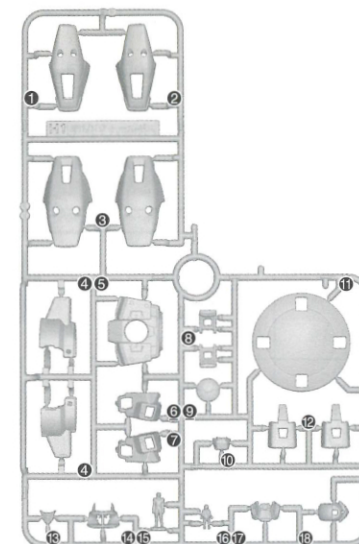
Fパーツ (スチロール樹脂: PS)



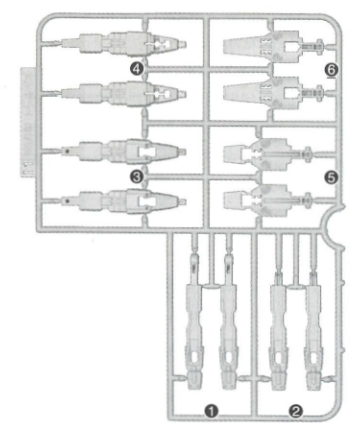
G1パーツ (スチロール樹脂: PS)



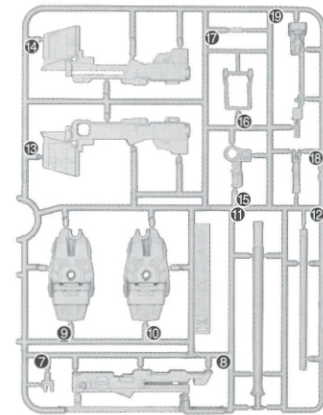
H1パーツ (スチロール樹脂: PS)



I1パーツ (スチロール樹脂: PS)



I2パーツ (スチロール樹脂: PS)



PC-207C (ポリエチレン: PE)



SB-4パーツ (スチロール樹脂: PS)



※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

スプリング.....1個
カラーシール.....1枚
マーキングシール.....1枚
ガンダムデカール.....1枚

注意

必ずお読みください

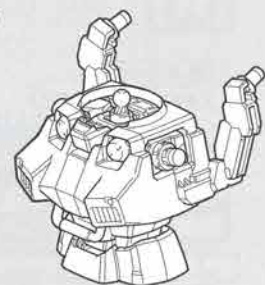
- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。



1 BODY



1-1 BODY

〔ボディの組立〕

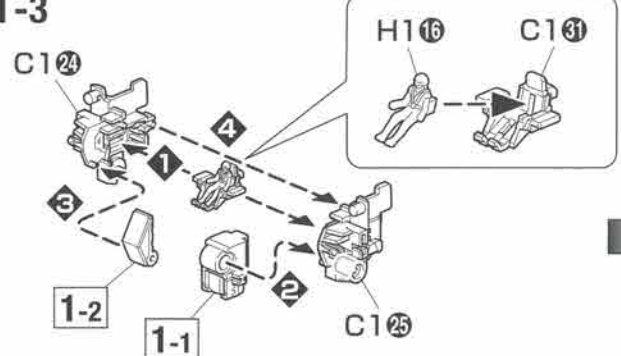


1-2

〔向きに注意〕



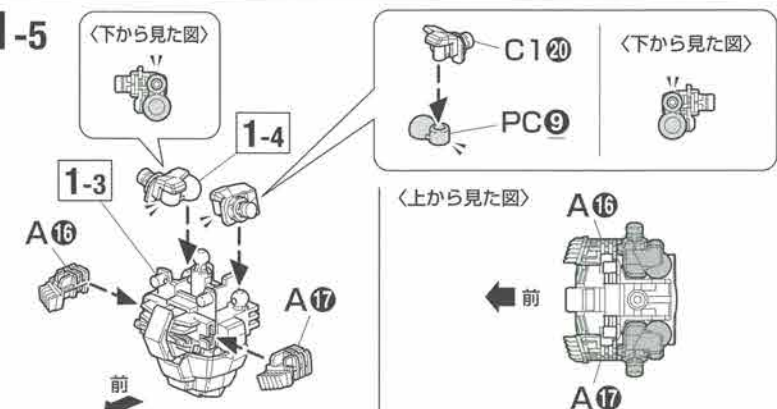
1-3



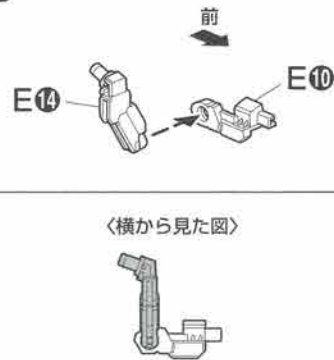
1-4



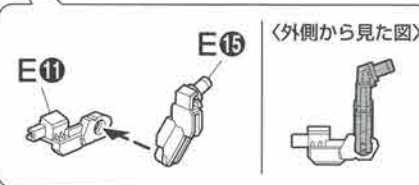
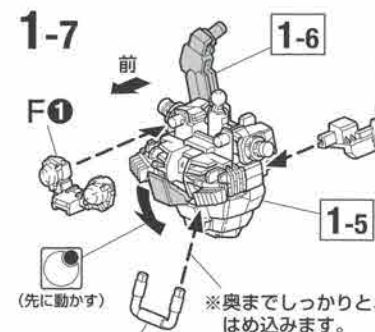
1-5



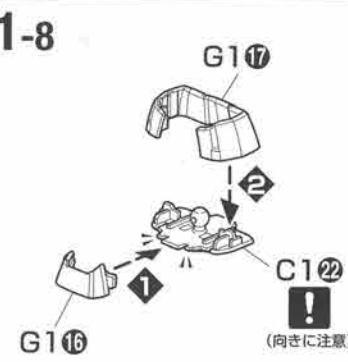
1-6



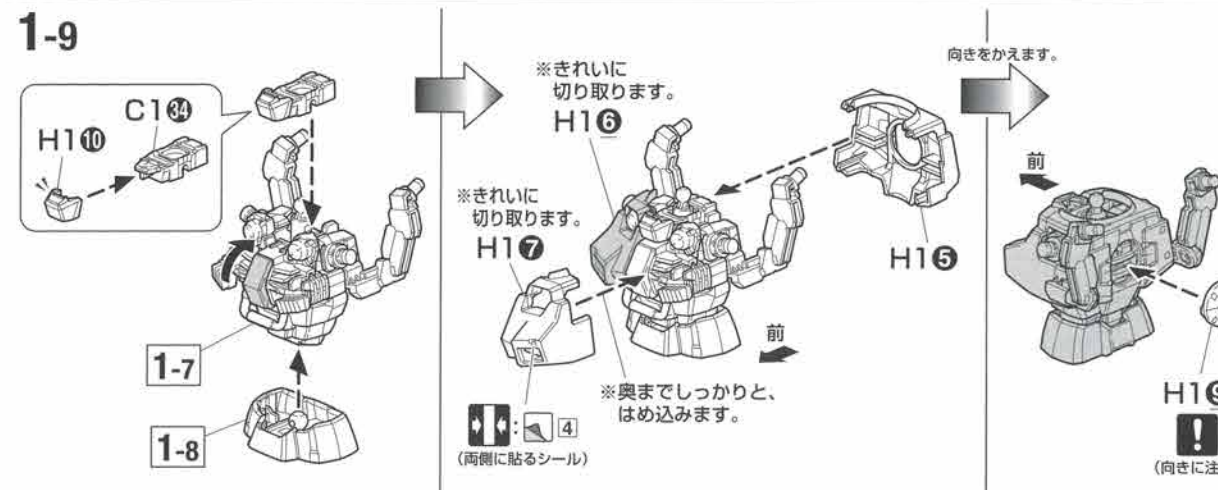
1-7



1-8



1-9

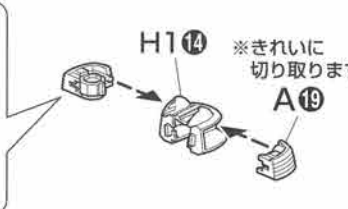


2 HEAD

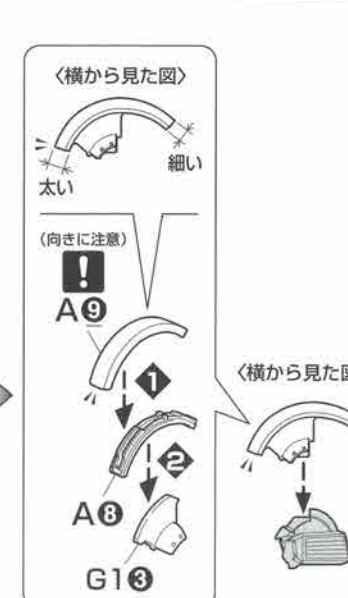
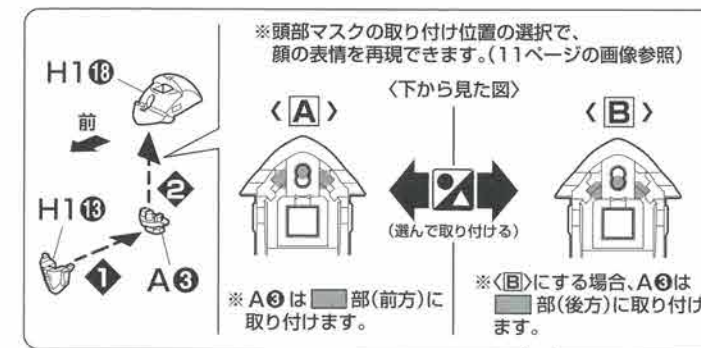


2-1 HEAD

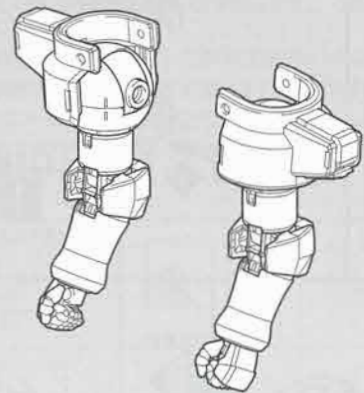
〔頭部の組立〕



2-2

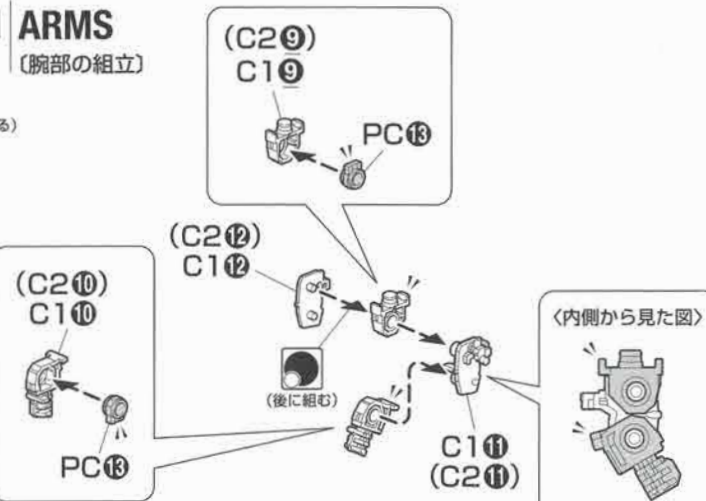


3 RIGHT ARM 4 LEFT ARM



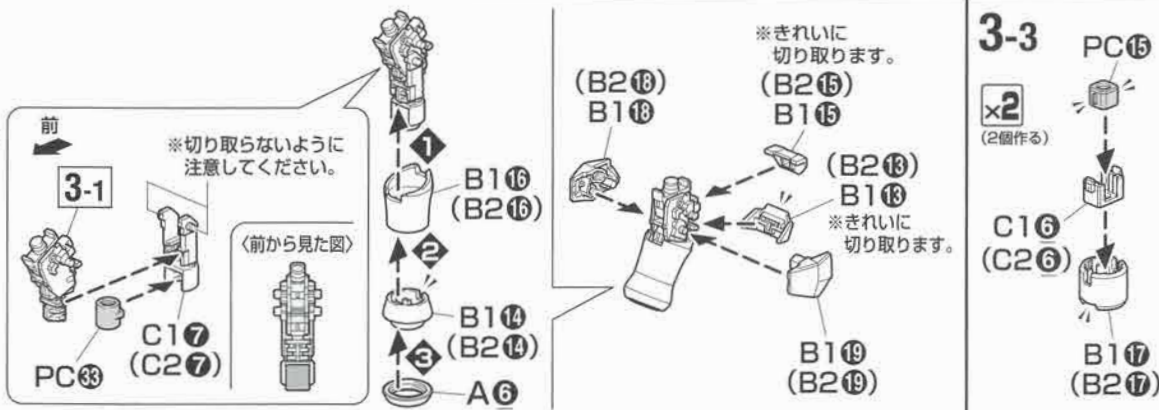
3-1 ARMS (腕部の組立)

×2
(2個作る)



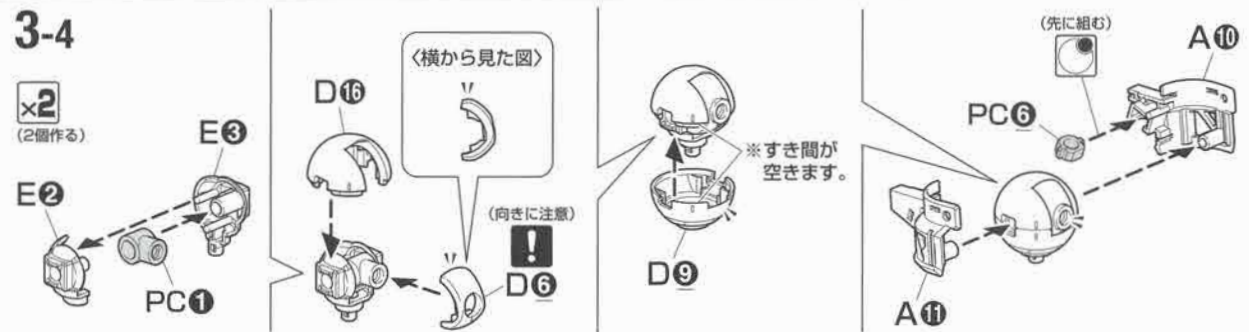
3-2

×2
(2個作る)



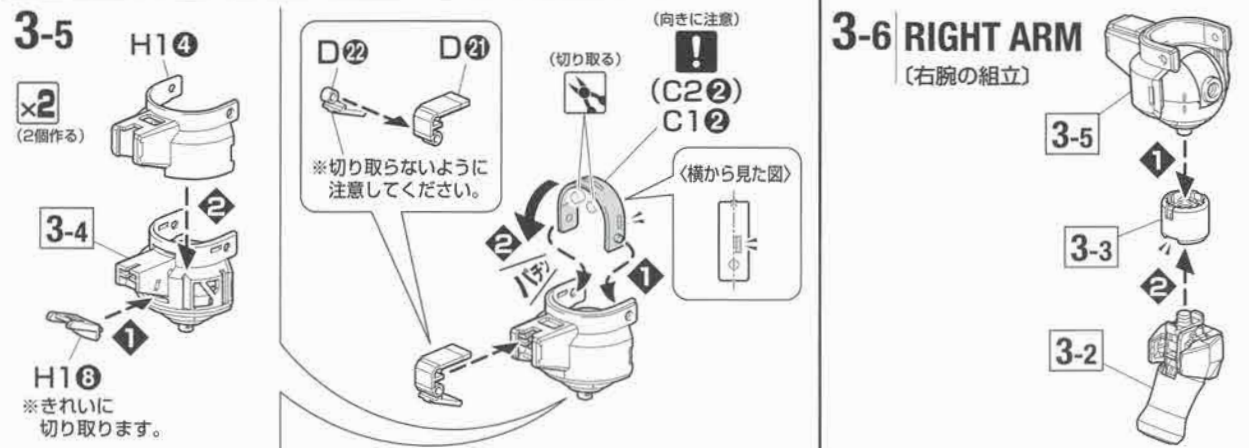
3-4

×2
(2個作る)

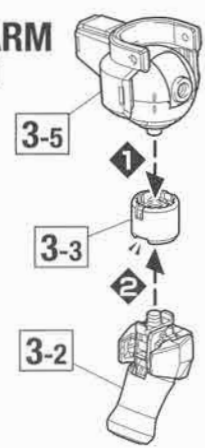


3-5

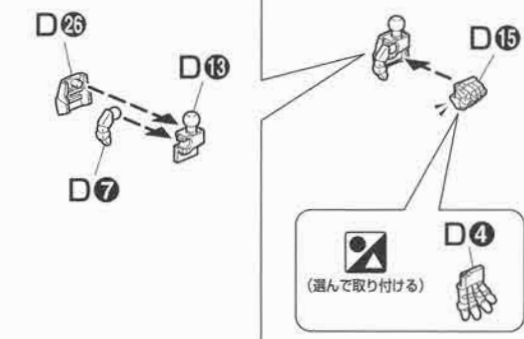
×2
(2個作る)



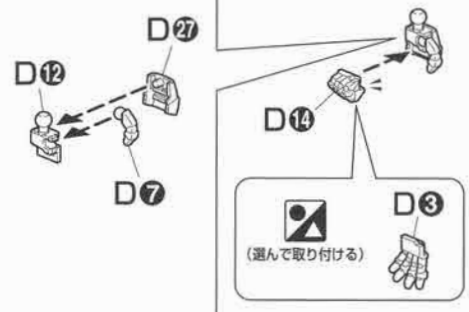
3-6 RIGHT ARM (右腕の組立)



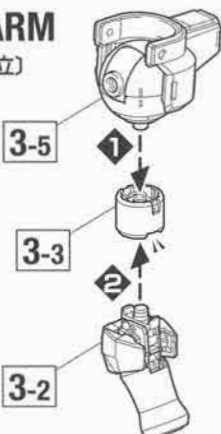
3-7



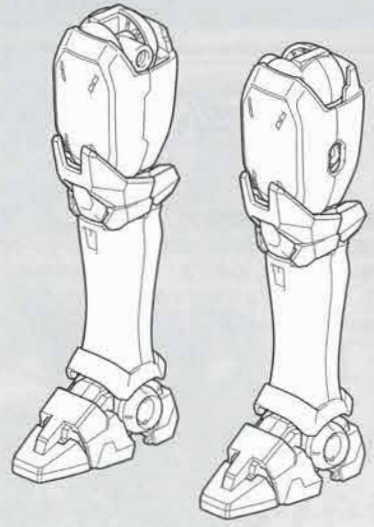
4-2



4-1 LEFT ARM (左腕の組立)

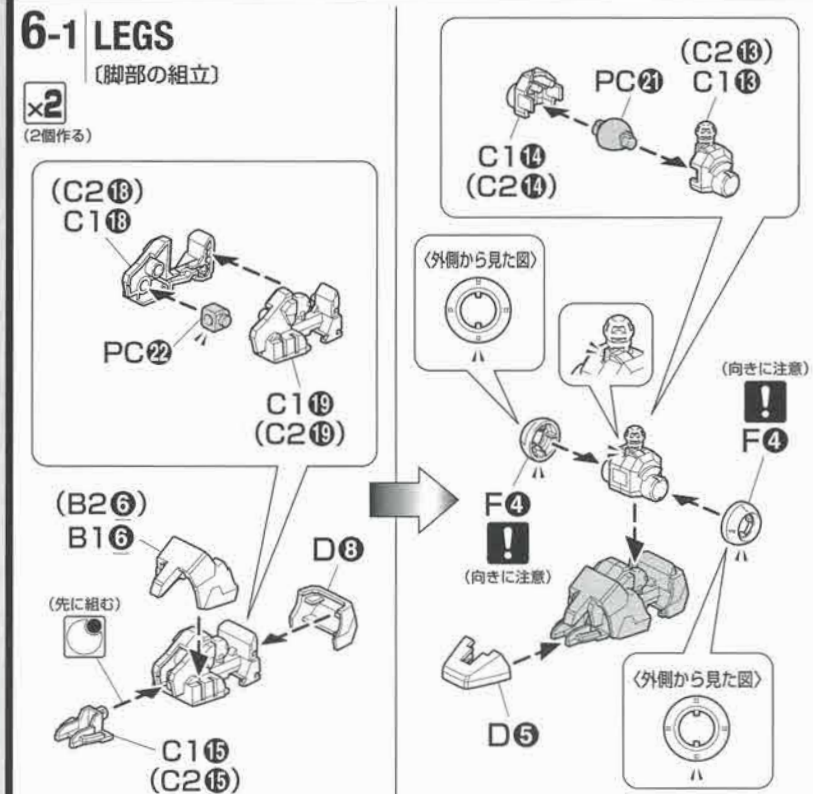


6 RIGHT LEG 7 LEFT LEG



6-1 LEGS (脚部の組立)

×2
(2個作る)



GUNDAM W ANOTHER ASPECT

Portrait of a Ruined Country (亡国の肖像)

「相当な暴れ馬ですよ」ピクトリア基地から到着したオットーは満身創痍の状態、出迎えたゼクスにそう答えた。ゼクスにしか扱えないというオットーの言葉を受けた彼は、トルギスでの出撃を決意。部隊を率いてサンクキングダム基地へと向かうのだった。輸送機から降下したゼクスは、トルギスの加速性能に驚きと戸惑いを隠せなかった。

敵基地からの反撃によって味方のMSが撃破される中、ゼクスは撤退を指示。しかし、自身はトルギスの加速性能をもってすれば対空砲火をかわし、司令部を撃破できるはずと考え、砲撃の中へと突入していく。しかし、トルギスの加速性能はゼクスの予想を遙かに上回っていた。死をも覚悟させるその性能に、自身の限界を感じたゼクスは戦場より離脱、味方部隊と合流する。たった一度の出撃でトルギスの特性を早くも掴みつつあったゼクスだが、その身体は次の出撃が危ぶまれるほどのダメージを受けていた。その様子を見ていたオットーは、独断でトルギスに搭乗すると敵司令部へと突撃、自らの命を懸けてゼクスの母国を取り戻した。



※画像はイメージです。

Hero, Distracted by Defeat (ヒーロ閃光に敗る)

トレースと合流したゼクスに新たな命令が下される。それは、ガンダム01=ウイングガンダムの迎撃にトルギスのみで対処せよ、というものであった。作戦は開始され、ゼクスも給油基地の直前で遂にウイングガンダムと対峙する。「最強の敵として認め合い、戦う。この申し出を受けざるを得まい。ガンダムのパイロットとして!!」

——両者はビームサーベルを抜くと、激しい剣戦を繰り広げる。数度の攻撃の後、ゼクスは勝利を確信するが、戦いはレディ・アンからの通信——コロニーへのミサイル攻撃の示唆——によって中断される。

レディ・アンがガンダムの引き渡しを要求する中、ゼクスはミサイル攻撃の中止を申し入れる。しかし、両者の意見が相容れるはずもなく、レディ・アンはミサイル発射の指示を出す。その時、ドクターJが介入、コロニー攻撃の中止と引き換えに降伏を申し入れる。だが、彼はガンダムの譲渡は受け入れず、ドクターJの言葉を聞いたヒーロはウイングガンダムを自爆させる。ガンダムのパイロットが少年であったこと、躊躇うことなく自爆したこと、ゼクスは言葉を失ったのだ……。

TALLGEESE OZ-00MS



TV版とエンドレスワルツ版のトルギス。細部に亘るブラッシュアップによるデザインの違い。

トルギスEW版は、TV版に比べシャープかつ力強いシルエットになっている。こうしたデザインは、トルギスの設定「高い機動性を持つ重装甲MS」を踏襲すると同時に、EWに登場したトルギスⅢとの繋がりを意識したものと言える。また、ディテールに関してはTV版では見られなかったものに加えるなど、EW版としての進化をうかがわせるものとなっている。その内容は機体各所——頭部の鶏冠部や複雑な構成の肩部、胴体部の面構成など——に及んでいる。さらに、パーツ表面を単なる「面」として捉えるのではなく、微妙なカーブやモールドなどを施している点にも注目したい。これはMSを(実在する)工業製品として見た場合、製造過程や整備のためのパーツ構成を考えた結果のディテールアップと言える。つまり、1/100トルギスEW版が存在した場合、全てのディテールとデザインには機能・デザイン的な意味を持つと言うことである。こうしたディテールアップの積み重ねと検証は、機体の持つデザイン上の情報量を飛躍的に高めると同時に、トルギスEW版の全体のバランスを構築する要因のひとつとなっているのである。



インナーフレームはOZ系MSのベースとなっているため、リーオータイプを意識した形状となっている。



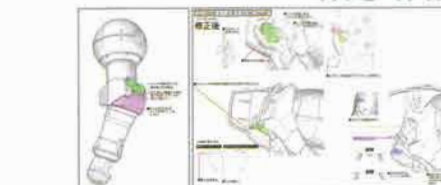
カトキ氏が描き下ろしたW作品に登場するMS-MAの「アーリーモデル」イラスト。月刊ニュータイプ(角川書店刊)に掲載された。



頭部マスクを一段奥に組み替えることでガンダムの頭部のような起伏のある表情を再現できる。



頭部内部はリーオータイプのセンサーを再現。詳細な指示により、細かなモールドまで再現されている。



肘、膝アーモ一部の記事。関節の可動時に見えるフレームの状態など、詳細な指示が書き加えられている。



肘、膝アーモは動きに合わせてスライド。サイドスラスタは腰、大腿部に接続され、脚部と連動可動する。



頭部接続基盤はヘッドパーツの上下に連動して可動。



カトキハジメ氏による指示が、ドーバーガンのメカ形状にリアリティを持たせている。



シールドは裏面にまでディテールを追求。ビームサーベルのグリップが2本収納可能。

GUNDAM W FEATURE #6

Comic コルシカ基地におけるMSとの邂逅。雪辱に耐えた撤退と離脱。

『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz 敗者たちの栄光』は『月刊ガンダムエース』(角川書店刊)にて好評連載

Novel

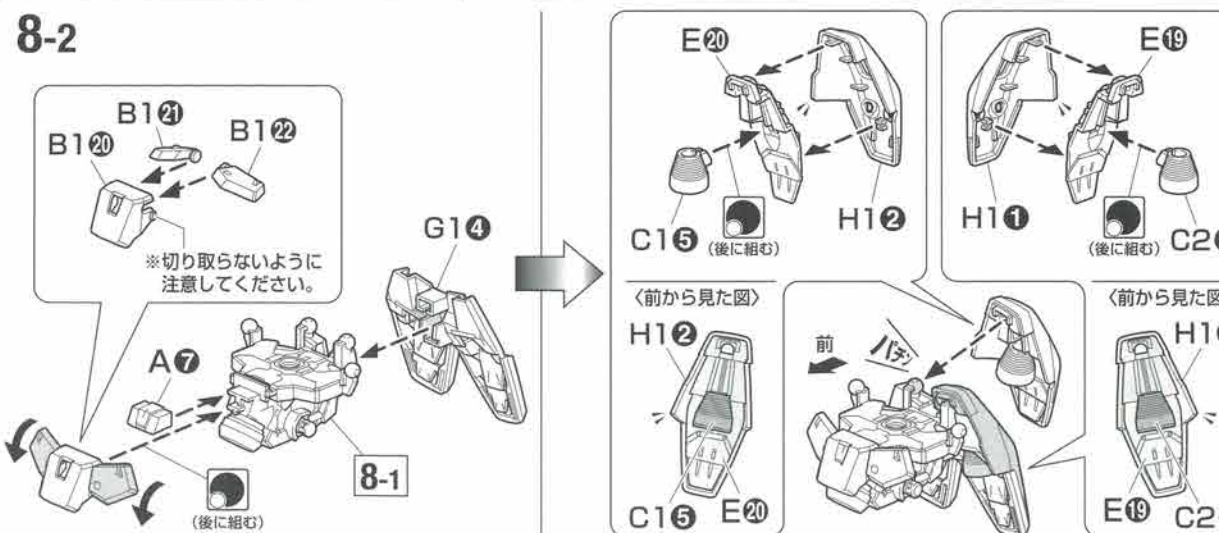
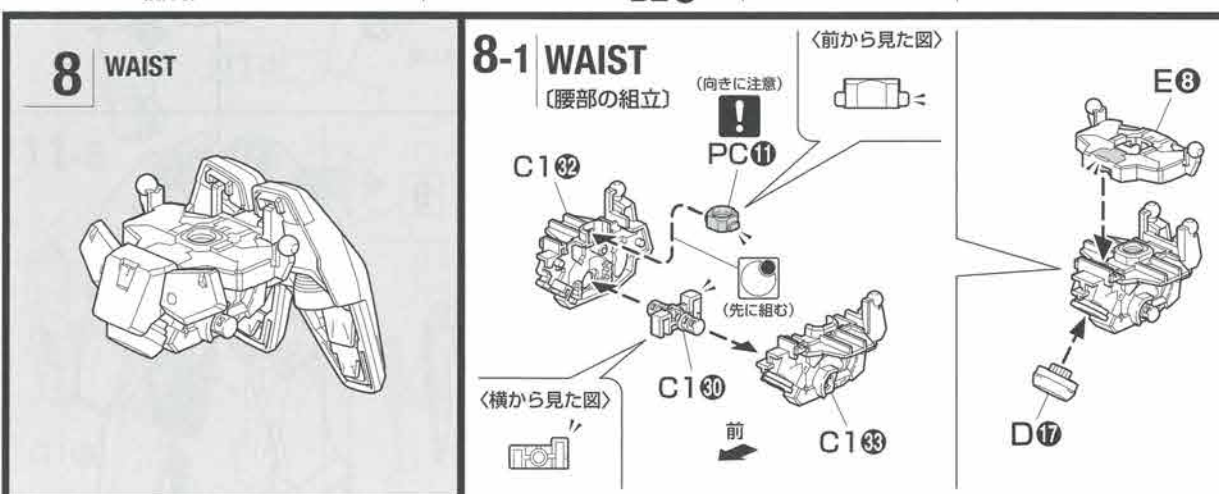
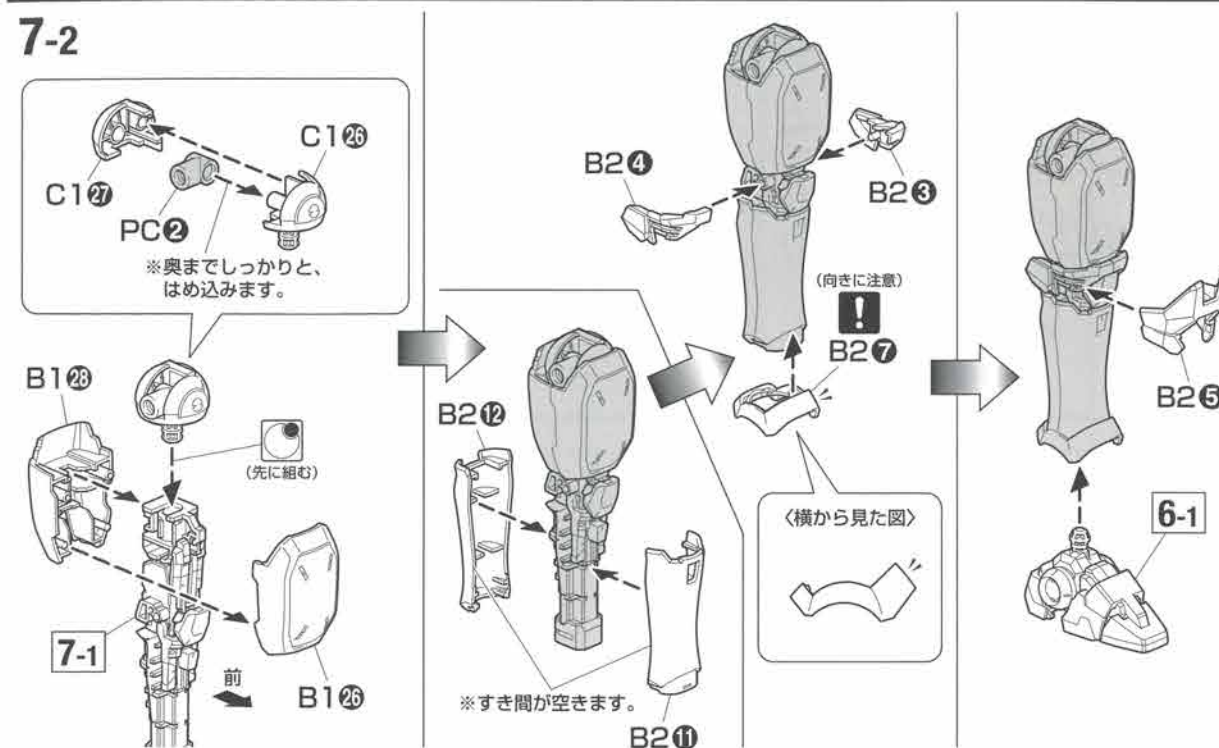
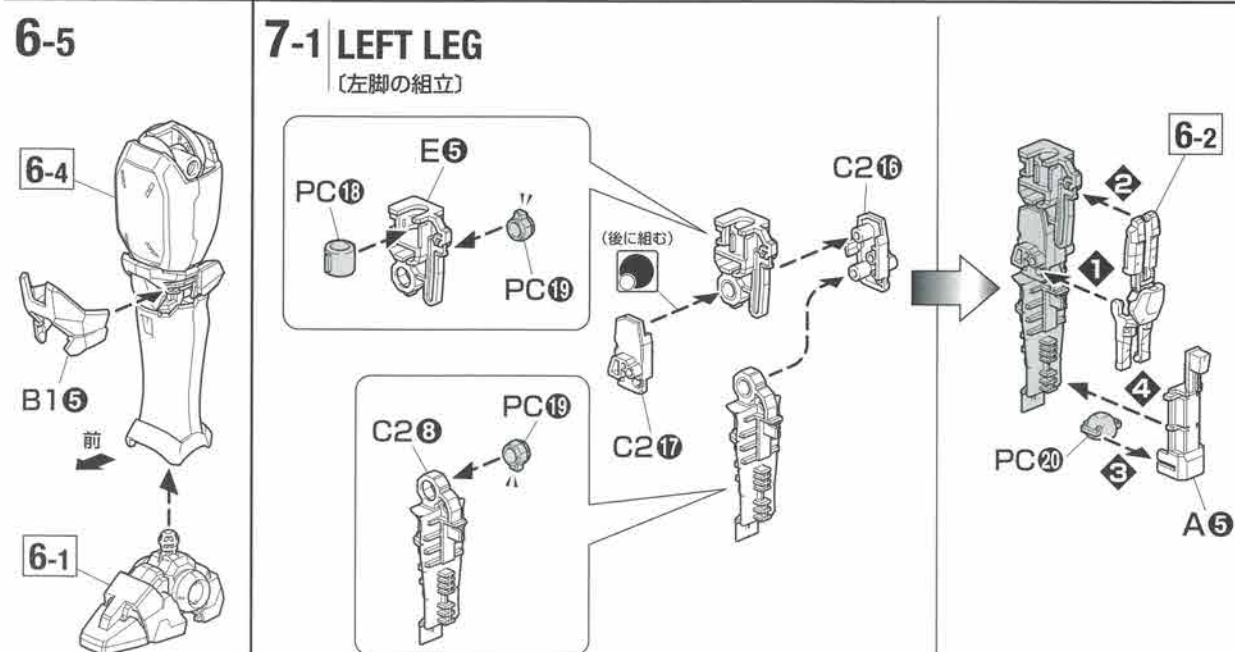
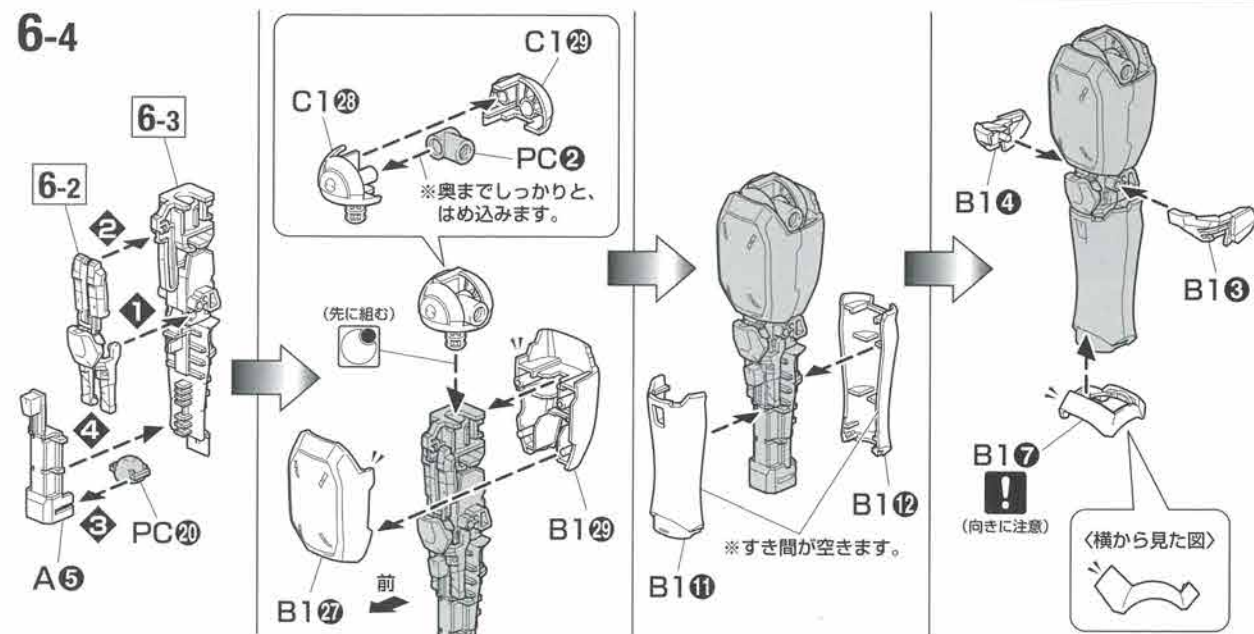
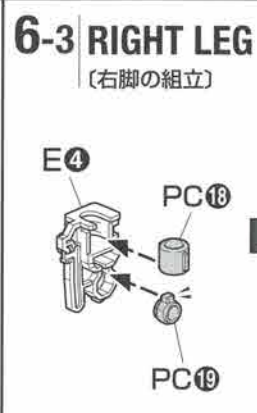
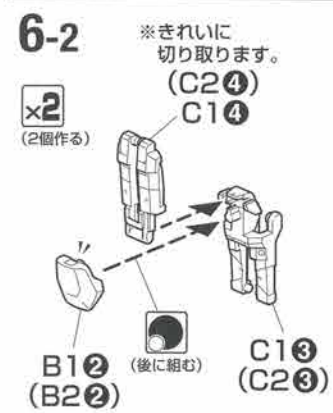
「ピースクラフト・ファイル」に記されたアフター・コロニーの謎とは——? Novel

「キュレネの風」——ゼクス、マークスが操るトルギスヘブンが、250機ものマーズスーツを撃破した。エリシム島に向かうナイナとミルたちは、「ピースクラフト・ファイル」と名付けられたその歴史ファイルを目にする。その内容にミルは驚きを隠せなかった。そして目的地の直前で、彼らはデュオ・マックスウェルの襲撃を受けるのだった。

『新機動戦記ガンダムW フロズン・ティアドロップ』は『月刊ガンダムエース』(角川書店刊)にて好評連載

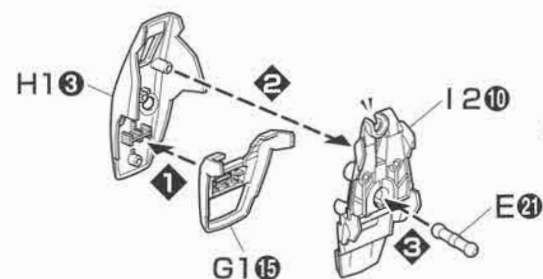
小説 単行本5,6,7巻 好評発売中

コミック 単行本3,4巻好評発売中

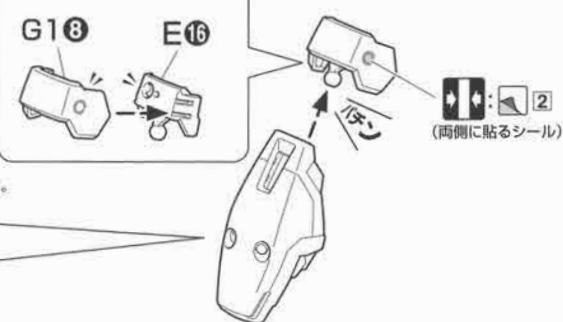


9-1 BOTTOM

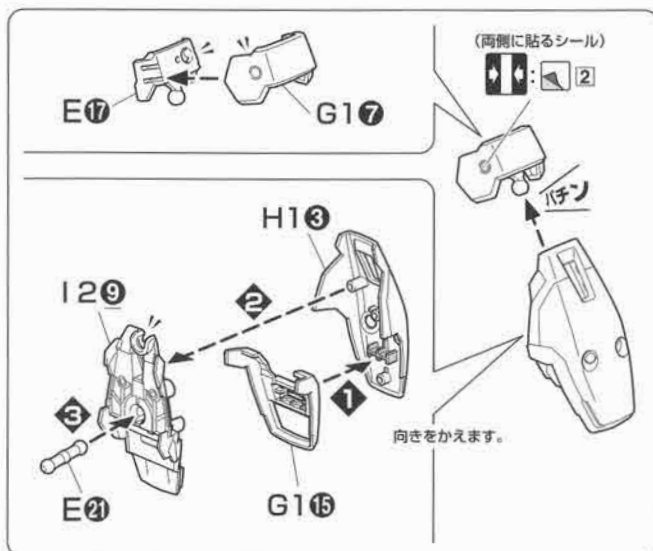
〔下半身の組立〕



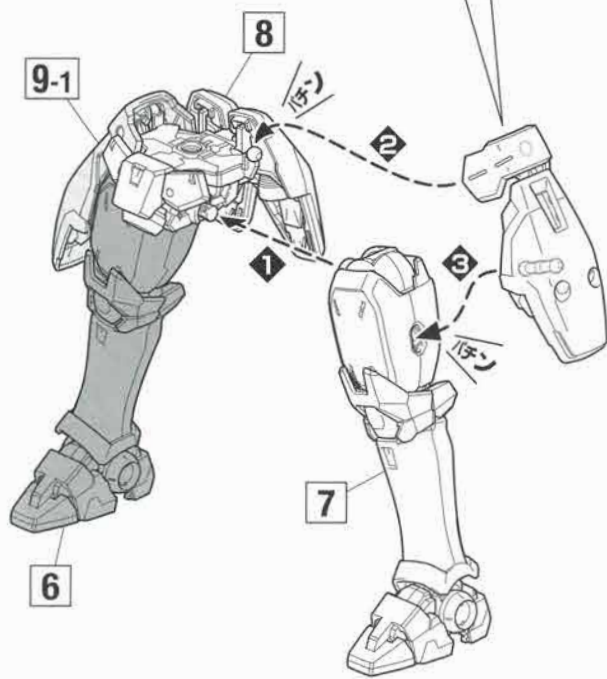
向きをかえます。



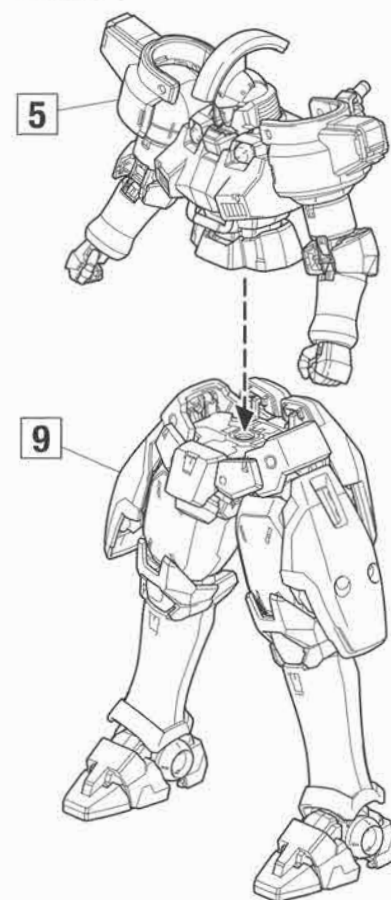
9-2



向きをかえます。



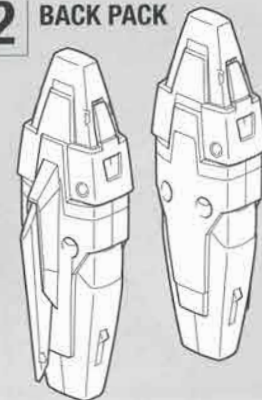
10 BODY ASSEMBLE



〈コクピットハッチの開け方〉

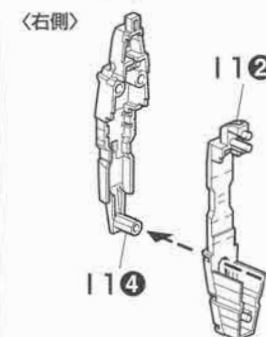


11 12 BACK PACK



11-1 BACK PACK

〔バックパックの組立〕

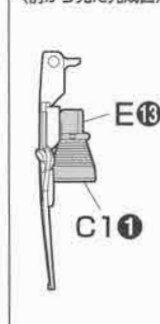


11-2

前



〈前から見た完成図〉

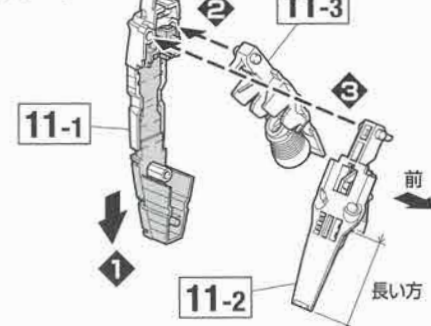


11-3

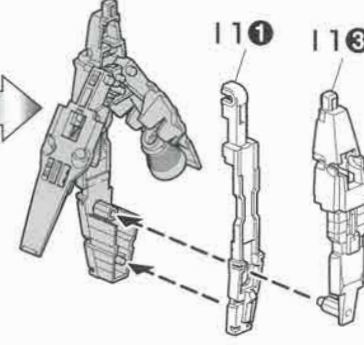
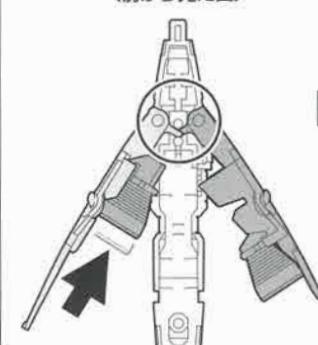
前



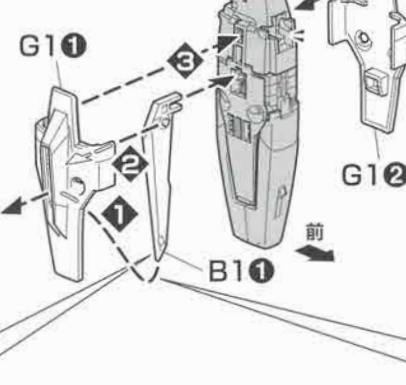
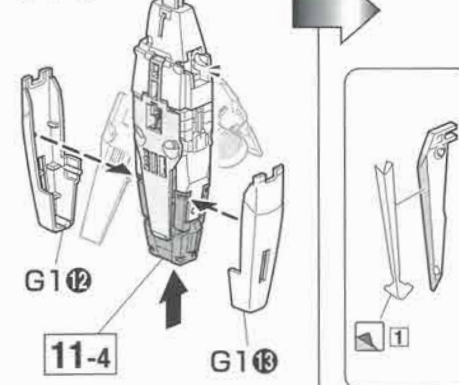
11-4



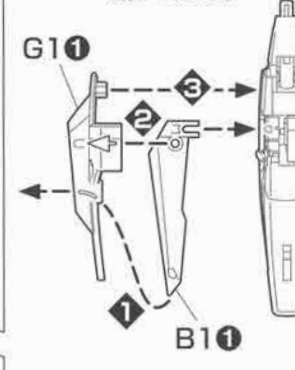
〈前から見た図〉



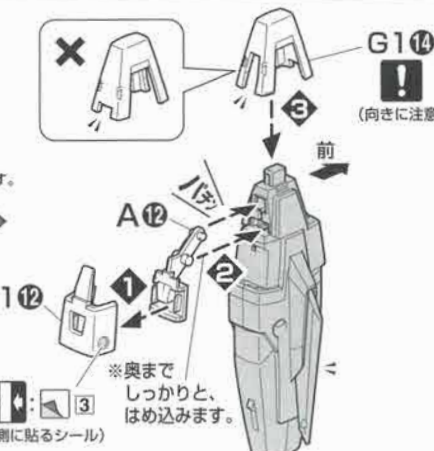
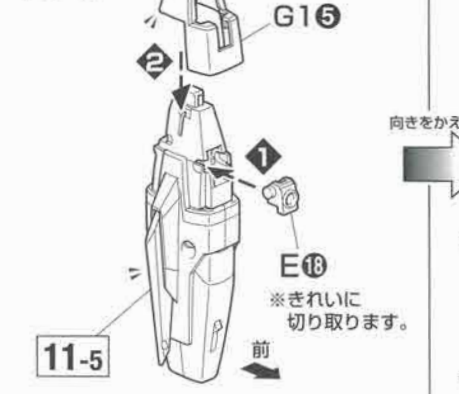
11-5



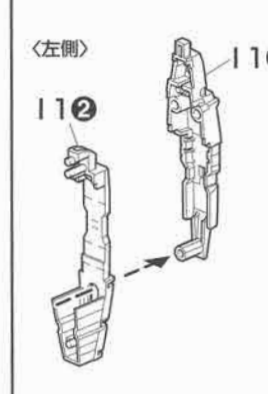
〈前から見た図〉



11-6

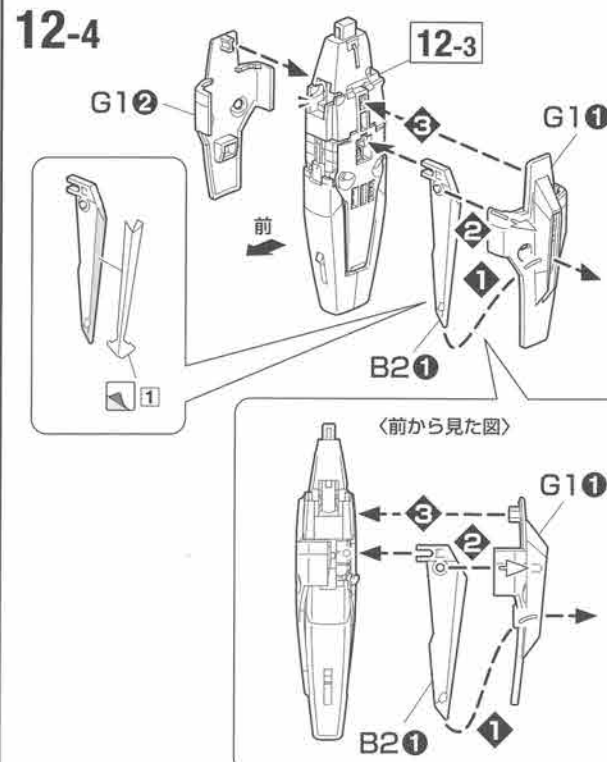


12-1

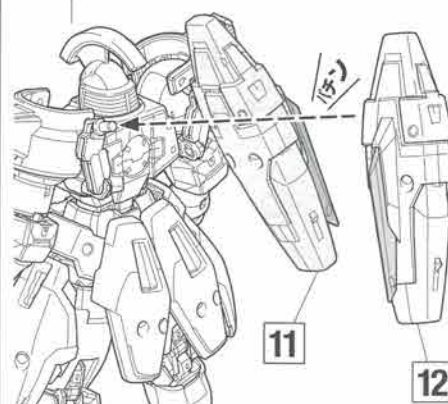




12-4



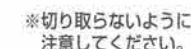
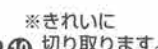
13 | FINAL ASSEMBLY



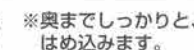
15



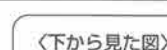
※穴のある方が
外側



14-3



14-4



15 | SHIELD

C135

A13

C137

C136

E7

※切り取らないように
注意してください。

〈横から見た図〉

※切り取らないように
注意してください。

(向きに注意)

16-1

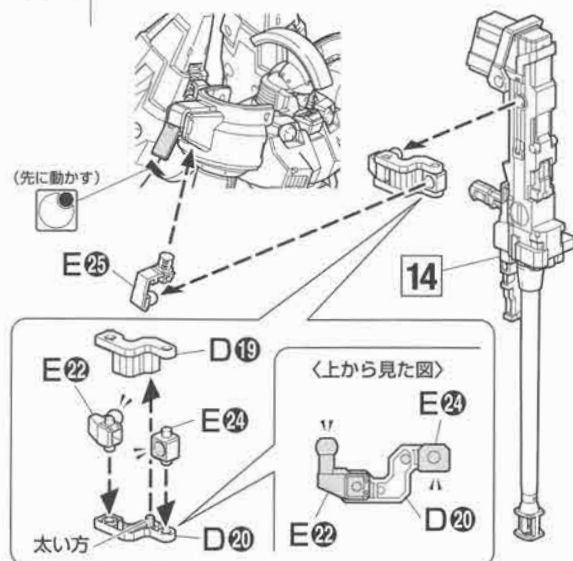
※羽を持って開いてください。



※バンダイプラモデルアクションベース1 (別売り) を使用してディスプレイできます。

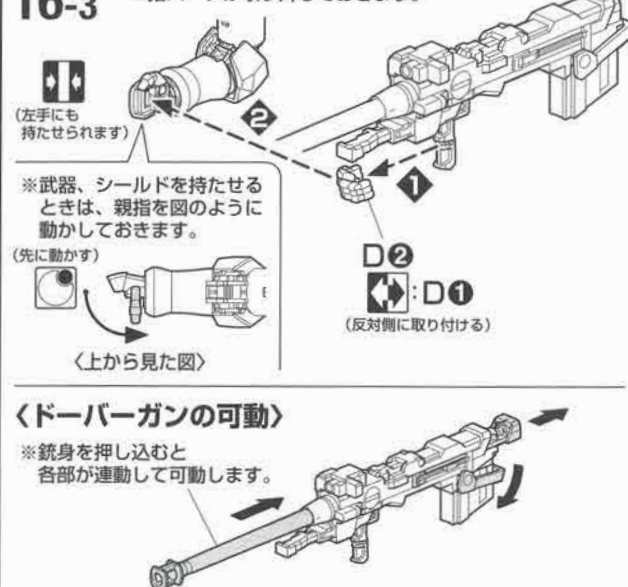


16-2 <武器の持たせ方>

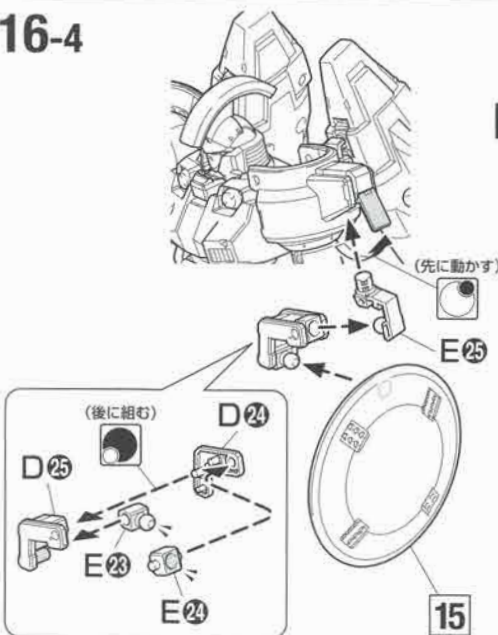


16-3

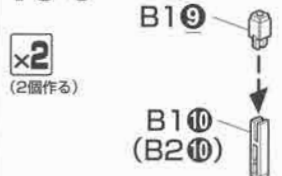
※指パーツは取り外しておきます。



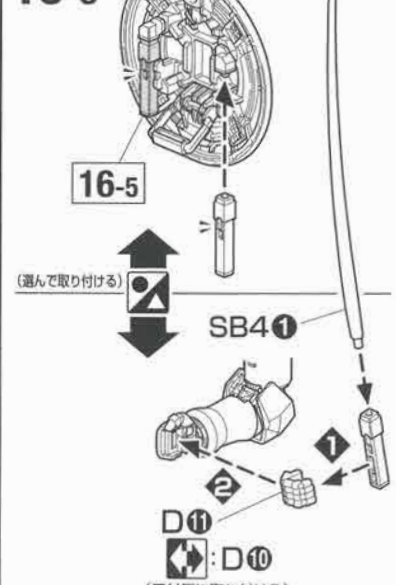
16-4



16-5



16-6



Seal

<シール> 下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

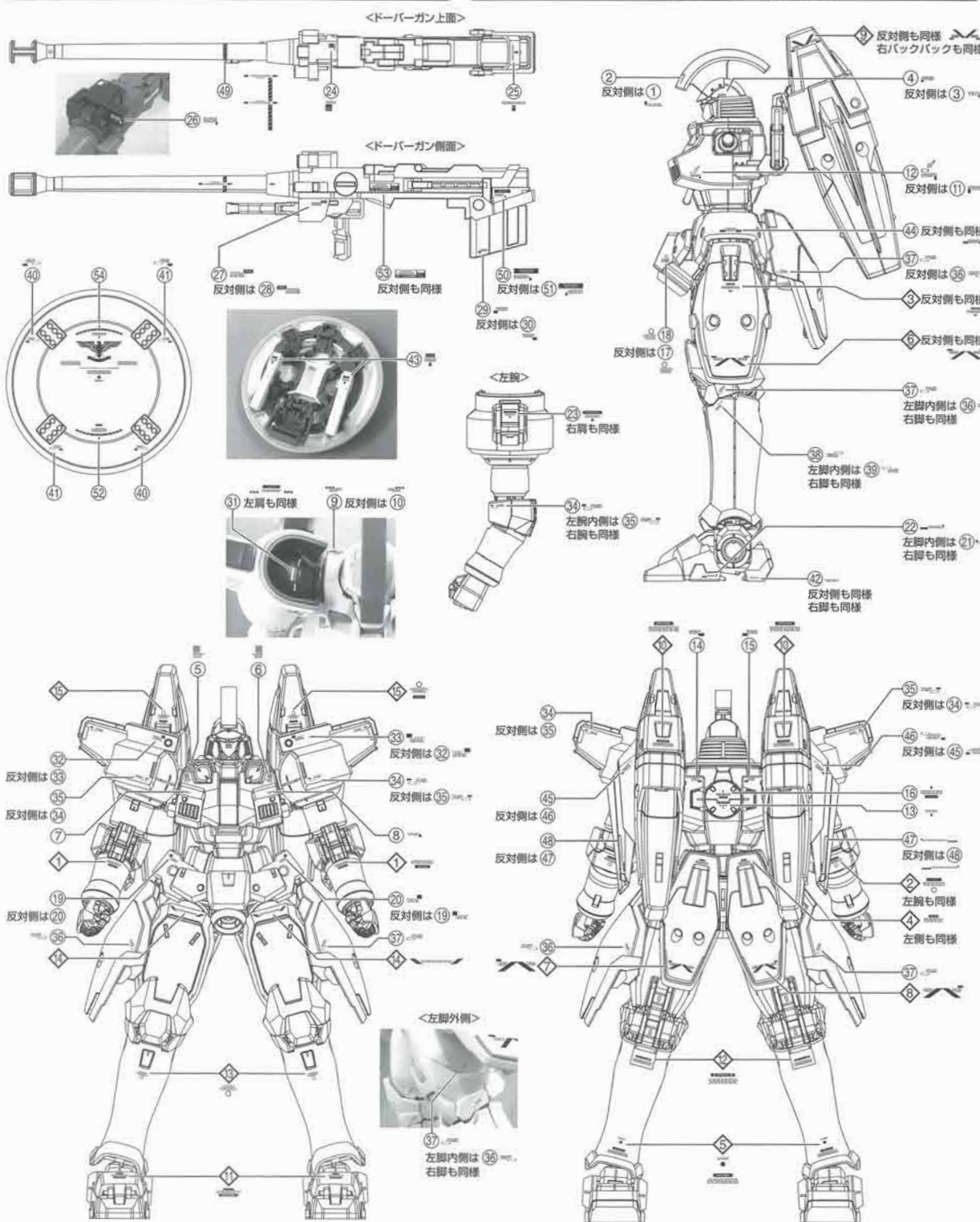
マーキングシールは○に数字
ガンダムデカールは◇に数字で表記してあります。

【例】①・・・マーキングシール ◇・・・ガンダムデカール

【ガンダムデカールの貼りかた】

1. 転写するマークを大きめに切り取ります。
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすりつけます。

このマーキングシール及びガンダムデカールはプラモデルオリジナルのもので、貼付指示は一例です。イメージに合わせてお貼りください。



※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所にはってください。